

# International Conference on Respectful Childbirth Care

『現代のマザーテレサ』ロビン・リム氏 初来日

日本語  
通訳  
あり

日時 2018年9月4日（火） 13:00-16:00  
場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎134  
事前登録 下記URLあるいはQRコードよりお願いします（予約優先、当日参加可）

第1部：基調講演

女性が大切にされる出産ケア ～人権としての医療～

*Respectful Childbirth Care, as a Human Right* ロビン・リム氏（ブミ・セハット国際助産院・院長）

第2部：パネルディスカッション

WHO新ガイドライン『肯定的な出産体験のための分娩期ケア』を実現するために

森臨太郎氏（国立成育医療センター研究所・政策科学研究部長）

ロビン・リム氏（ブミ・セハット国際助産院・院長）

ダヴァツェレン・ムンヘツェツェゲ氏（モンゴル国立医科大学・産婦人科学科長）

チュナガスレン・バダマハンダ氏（アムガラン産科病院・助産師長）

グエン・タアオ・クエン氏（ホーチミン市医科薬科大学・助産学講師）



事前登録URL: <http://www.kokuchpro.com/event/robintsukuba/>

交通案内 丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩3分程度（住所 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1）  
主催 筑波大学医学群看護学類&大学院人間総合科学研究科看護科学専攻  
共催 一般社団法人アースカンパニー、ドゥーラシップジャパン  
後援 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター  
事務局 筑波大学国際看護学教室 メール [tsukuba.ghn@gmail.com](mailto:tsukuba.ghn@gmail.com)



# 「現代のマザーテレサ」 ロビン・リム氏 初来日



“世界平和はひとりの赤ちゃん、お母さん、  
家庭から始まると信じている”

## ロビン・リム氏 プロフィール

1956年、フィリピン生まれ。36歳でバリ島に移住し、妹を妊娠合併症で失った経験から助産師として生きることを決め、49歳で貧しい妊産婦に無償医療を24時間365日提供するブミセハット助産院バリ島クリニックを開業。その後20年以上にわたり、世界中からの寄付のみで運営している。産科医療だけでなく一般診療や山間部への往診、助産師・看護師への教育支援事業も行っており、サービスの受益者は年間8万人以上にも及ぶ。人権を守るお産を提唱し、丁寧で、文化的に安全な妊産婦・お産ケアを最前線で築いてきた。2011年「CNN Hero of the Year」、2015年「Bayanihan Peace-builders Award」（フィリピンで最も栄誉ある賞）、2016年「Earth Company's Impact Hero Award」他受賞歴多数。これまでに20冊を執筆し、著書は6か国語に翻訳されている。

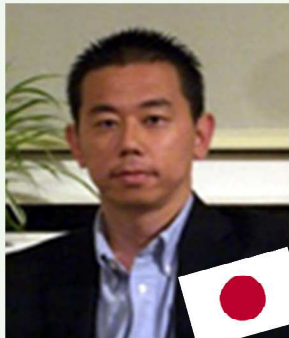
## 今回の来日ツアー

- 9月2日(日)お産カンファレンス「伝えよう、受け継ごう、「お産」の多様性と豊かさを！」(佛教大学@京都)
  - 9月5日(水)講演会「女性と赤ちゃんの力を信じよう Believe in mothers, believe in babies」(Umiのいえ@横浜)
  - 9月6日(木)ロビン・リムに学ぶ、「生きる力」を育む社会のつくり方(ETIC@永田町)
  - 9月9日(土)ロビン来日公式イベント(Earth Company x Avanti @池袋)
- 詳細情報はこちら → [www.earthcompany.info/ja/robin-lim-japan-2018](http://www.earthcompany.info/ja/robin-lim-japan-2018)

## パネリスト

### 森臨太郎氏

新生児科医  
コ克蘭日本支部代表



### ダヴァツェレン氏

モンゴル国立医科大学  
産科医 産婦人科学科長



### チュナガスレン氏

アムガラン産科病院  
助産師 師長



### グエン・タオ・クエン氏

ホーチミン市医科薬科大学  
講師 助産師



## WHO新ガイドライン『肯定的な出産体験のための分娩期ケア』

2018年2月に発表された「WHO recommendations Intrapartum care for a positive childbirth experience」はWHOとコ克蘭の提携により開発された新指針で、エビデンスに基づく推奨ケアのリストに加え、産む女性の人権や尊厳が強調されています。今回、第2部では、このガイドラインを体現しているブミ・セハット国際助産院のロビン・リム氏、本ガイドライン開発委員の森臨太郎氏、途上国モンゴルとベトナムから産科医と助産師をパネリストにお迎えし、本ガイドラインが各国でどのように受け止められ今後取り入れられていくかを話し合います。当日は全56項目リストを含む日本語訳資料を配布予定です。

肯定的な出産体験を得るために  
すべての女性もつ権利とは



## EARTHCOMPANY

『この地球は、私たちの先祖から継承したのではなく  
私たちの子供たち、子孫から、借りているのである』

一般社団法人アース・カンパニーは、以下3つの事業を通して、「社会変革」を創出サポートしています。① アジア太平洋の途上国で実際に社会変革を起こしている現地チェンジメーカーを支援すること(支援事業) ② 未来を担う世代から、社会変革をもたらす人材を育成すること(教育事業) ③ 組織として社会変革に挑む事業や社会的企業にアドバイザーを行うこと(コンサルティング事業)。



# International Conference on Respectful Childbirth Care



**Date** Tuesday, September 4, 2018, 13:00-16:00

**Venue** Rm.134, Bunkyo Campus (Tokyo), Univ. of Tsukuba

Keynote Lecture:

## Respectful Childbirth Care, as a Human Right

Robin Lim (Midwife, Director, Yayasan Bumi Sehat Birth Center)

Panel Discussion:

## Challenges and Strategies for Implementation of “WHO recommendations: Intrapartum care for a positive childbirth”

Rintaro Mori

(Head, Department of Health Policy at National Center for Child Health and Development)

Robin Lim

(Director, Yayasan Bumi Sehat Birth Center, Director)

Davaatseren Munkhtsetseg

(OB/GY, Professor, Mongolian National University of Medical Sciences)

Chunagsuren Badamkhand

(Chief Midwife, Amgalan Maternity Hospital, Ulaanbaatar)

Nguyen Thao Quyen

(Midwife, Lecturer, Ho Chi Minh City University of Medical and Pharmacy)

Access to Bunkyo Campus:

address: 3-29-1 Otsuka, Bunkyo, Tokyo 112-0012 Japan

by train: 3-min walking from Exit 3, Myogadani Station (Marunouchi-line)

Hosted by School of Nursing and Doctoral & Master's Programs in Nursing Science

Co-hosted by Earth Company, Doula Ship Japan

Sponsored by Diversity Accessibility Career Center, U. of Tsukuba

Contact: Department of Global Health Nursing, Faculty of Medicine, E-mail [tsukuba.ghn@gmail.com](mailto:tsukuba.ghn@gmail.com)

Pre-registration  
Recommended  
(but not required)  
Everyone is  
Welcome

